

第10回

福岡市環境行動賞 受賞者



大賞

株式会社JR博多シティ



19種類のごみ分別



生ごみ処理機

テナントへの徹底した指導や独自のごみ分別

国内外からの旅行者も含め、1日に15万人もの多くの方が訪れる大型商業施設。施設内では約400ものテナントが営業しており、定期的な店舗の入れ替わりもある中で、テナントに対しごみ排出の計量の義務付け、排出量に応じた課金制度の導入、新店研修や店長研修でのごみ減量について周知など、徹底した指導を行うことで、施設全体のごみ発生量の抑制につなげています。また、ごみの分別についても19種類に細分化することで、資源としての再利用を促進されています。多くの飲食店が営業する中、地下に大型の生ごみ処理機を導入し、生ごみの飼料化で100%のリサイクルを達成するなど、食品リサイクルに取り組まれています。

屋上では、太陽光パネルによる発電や、屋上緑化に力を入られています。屋上緑化の一環として設置している田んぼや畑を利用し、1年間を通して田植えや稲刈り、収穫を体験する「ファーマーズくらぶ」を平成29年に設立。主に子どもたちを対象として、自然に触れる機会を提供されています。

その他、屋上の暑さ対策としてドライミストの設置や、駅前広場での店舗スタッフによる地域周辺清掃など、総合的でチャレンジングな活動を実施されています。

大型施設の廃棄物発生抑制・処理方法においては現時点での完成形であり、なおかつ福岡市の玄関口でもある巨大ターミナル博多駅の環境美化に大きく貢献されています。



最優秀賞 (個人)

花田 正善 さん



地域の企業や小学校と 連携した環境美化活動

「シニアボランティア講習会」の受講生の有志で、「地域で何かできることはないか」と考え、不法駐輪の整理を始めたことがきっかけとなり、以後17年にわたり、地域でのごみ拾い、不法駐輪の整理、花壇の手入れなどを実施されています。

週2回のごみ拾いや、月に1回の商工会や事業者と連携した清掃を行うことで、個人に留まらない、地域全体の取組みとなっています。

また、保育園や小学校に呼びかけ、花壇の手入れに参加してもらうことで、子どもたちが自然に触れ合えたり、地域への愛着を持つきっかけとなっています。



最優秀賞 (団体)

油山自然観察の森 森を育てる会

油山での計画的な森林保全と環境学習

油山自然観察の森の保全活動を通じて、広く緑地保全活動を行う市民の育成及び交流を行うことを目的として活動を始められました。

管理事務所と協力して保全に関する基本計画を策定され、月に2回、計画に基づいた森林保全や植物等の調査、勉強会などを実施されています。

クヌギやコナラなどの落葉広葉樹を中心とした木がある「カブトムシの森」やアカマツ林では、間伐や草刈などの保全活動の結果、昆虫や幼木が増えています。

保全活動だけではなく、市民向けにしいたけの駒打ち体験や間伐材を使った木工教室を開催するなど、市民の方が森に親しみを持てるような環境学習の場を提供されています。

